

元気!長生き!

 太陽生命



News Release

2021年9月27日

各 位

太陽生命保険株式会社
代表取締役社長 副島 直樹

**元
氣**
太陽の元氣
SUNNY

太陽生命、「独立行政法人国際協力機構（JICA）」が発行する

「ジェンダーボンド（ソーシャルボンド）」への投資を実施

T&D保険グループの太陽生命保険株式会社（社長 副島直樹）は、ESG投融資の一環として、独立行政法人国際協力機構（以下「JICA」）が発行するジェンダーボンド（ソーシャルボンド）（以下「本債券」）への投資を決定いたしましたのでお知らせいたします。

当社が投資する本債券の調達資金は、①ジェンダー平等・女性のエンパワメントを主目的とする事業（例：女性事業主向けの金融アクセス改善事業、女子教育）、②ジェンダー平等・女性のエンパワメント推進に資するコンポーネントを組み込んでいる事業（例：都市鉄道建設事業における女性専用車両、防犯カメラ、女性用トイレの設置）に充当される予定です。

<本債券の発行概要>

発行体：独立行政法人国際協力機構（R&I格付：AA+、S&P格付：A+）

名称：ジェンダーボンド（ソーシャルボンド）

※国際資本市場協会（ICMA）が公表する「ソーシャルボンド原則」に準拠したソーシャルボンド

発行総額：200億円

償還期間：10年・20年

SDGs：本債券によって調達された資金は、JICAの事業を通して、SDGsの右記目標の達成に貢献します。



当社は、2007年3月に日本の生命保険会社として初めて「責任投資原則（PRI）」（※）に署名し、環境（E）、社会（S）、企業統治（G）の課題に十分配慮し、持続可能な社会の実現に向けた資産運用を行っています。今後とも、責任ある機関投資家として、「T&D保険グループESG投資方針」に基づき、事業活動を通じて、社会的課題の解決に貢献する取組みを進めてまいります。

以 上

（※）責任投資原則（PRI=Principles for Responsible Investment）とは、2005年に当時の国連事務総長であったコフィー・アナン氏が金融業界に対して提唱した原則です。投資の意思決定プロセスや株式所有方針の決定に際して、環境・社会・企業統治（ESG）の課題を考慮し、受益者のために、より優れた長期的な投資効果と持続的な金融市場を実現していくための行動規範です。

さあ、保険の新次元へ。

T&D 保険グループ

太陽生命保険株式会社 広報部
東京都中央区日本橋2-7-1